

科目名	課題研究(家庭)	単位数	1 単位	学科・学年	生活総合 科 2 年
使用教科書				副教材等	家庭科問題集 基礎編
学習目標	家庭科技術検定3級の筆記試験合格を課題に設定し、さらに次年度に向けて2級の筆記試験の対策を行い、資格取得へつなげる学習態度を身につけます。				
学習評価	○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。				
	①関心・意欲・態度	課題である家庭科技術検定3級の筆記試験合格をめざし、目的意識をもって自主的、主体的に課題解決を図ろうとしている。			
	②思考・判断・表現	検定合格の課題解決を図るために、自らが計画的にその過程や成果を思考分析して自己評価する態度が身についている。			
	③技能	学習を通して、基礎的技術が定着している。			
	④知識・理解	食物調理・被服製作に関する基礎的な知識技術が理解できている。			
		評価方法\観点	①	②	③
学習状況観察		◎	○	○	—
実習日誌		○	◎	○	○
検定結果		—	—	◎	—
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。					
履修上の注意	○授業はクラスを農業分野と家庭科分野の2つについて学習します。 ○家庭科分野では、家庭科技術検定（被服製作3級・食物調理3級・情報処理技能検定3級）に受検し合格を目指します。 ○ファイルを準備し、記録用として使用します。				

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学習活動（評価方法）
1 学期	4	オリエンテーション	1	○課題研究の目的、意義 を理解する。	記録簿の提出（毎時間）  (自己評価) (検定結果) (記録簿)
	5	食物調理技術検定3級の学習	12	○食物調理技術検定3級の 筆記対策を行う。	
	6	(食物調理技術検定3級受験)			
	7				
2 学期	9	被服製作技術検定3級の学習	12	○被服製作技術検定3級の 筆記および実技の対策 を行う。	記録簿の提出（毎時間）  (自己評価) (検定結果) (記録簿)
	10	(被服製作技術検定3級受験)			
	12				
3 学期	1	情報処理技能検定表計算3級の学習  (情報処理技能検定表計算3級受験)	9	○情報処理技能検定3級の 対策を行う。	記録簿の提出（毎時間）  (自己評価) (検定結果) (記録簿)
	2	3年次課題の仮設定  反省・まとめ	1	○課題研究発表会を参考 に、次年度の課題研究に ついて計画を立てる。 ○一年間の活動のまとめ を行う。	